

助成事業申請書（手引き）

必ず7枚以内でまとめてください

公益財団法人あいちコミュニティ財団
「東海ろうきん傍楽ファンド」
2015年度助成事業申請書

投函日をご記入ください。

公益財団法人あいちコミュニティ財団

団体名ではなく事業名をご記入ください。

申請日： 年 月 日

1. 申請団体について

(1) 基本情報（※）
【公開】 / 最終（プレゼンテーション）（選考の参加者に公開します）

万円単位でご記入ください。

事業名（※）		
申請金額（※）	万円	
（ふりがな） 団体名（※）	代表印を押印ください。	
（ふりがな） 代表者氏名 （役職）	（ビルやマンション名もご記入ください。）	（印）
団体所在地	〒	TEL : FAX : E-mail :
（ふりがな） 担当者氏名 （役職）	（今回の助成事業の実務上の責任者となる方をご記入ください。）	TEL : E-mail : いずれかへの参加が必須条件です。
「募集説明会」「個別相談会」への参加	募集説明会 ・ 個別相談会（○を付けてください）	
認定ファンドレイザー認定者 （○を付けてください）	准認定ファンドレイザー 有 ・ 無 氏名： 役職：	
日本ファンドレイジング協会が実施する資格制度です。	認定ファンドレイザー 有 ・ 無 氏名： 役職：	
	東海労働金庫の口座 有 ・ 無（○を付けてください）	
CANPANでの情報開示レベル★5つ取得	済 ・ 未（○を付けてください）	

(2) 地域や社会のありたい姿（ゴール）と、申請団体が果たす役割（ミッション）

地域や社会のありたい姿 （ゴール）	
申請団体が果たす役割 （ミッション）	

(3) 団体の強みと弱み、外部環境の機会と脅威 (各項目 3 つまで)

内部	【強み】	【弱み】
	資源、顧客サービス、価格、コスト、市場における知名度・評判、環境、人材、財務など	
外部	【機会】	【脅威】
	・ 競合他社の動向、市場の伸び、法規制、景気動向、ニーズの変化 ・ 外部環境は、団体のことではなく、地域や社会のことをご記入ください。	

(4) これまでの主な事業と成果 (補助・助成事業の場合は、補助・助成元と金額も記入してください)

※概要を箇条書きで記入してください。

数が多くて書ききれない場合は、
金額の大きいものから順にご記入ください。

(5) これまでの「働く人を応援する」取り組みの中で、最も印象的なストーリー

2. 申請事業について

(1) 解決に挑む地域や社会の課題 (800 字程度)

※申請事業で解決を目指すのはどんな課題ですか？ 課題の当事者はどんな人で、その声や数字の根拠を示すなど、問題の深刻さや解決の緊急性・重要性、既存の解決策の不十分さ等を説明してください。

(「あいち『見える化』ウェブ」(<http://aichi-community.jp/mieruka/>) に掲載している過去の助成先の事例もご参照ください。

(2) 申請事業の目的と概要 (800 字程度)

※申請事業で上記の課題をどのように解決しますか？ 解決策としての有効性等を説明してください。

(「あいち『見える化』ウェブ」に掲載している過去の助成先の事例もご参照ください。)

(3) 申請事業の対象者・受益者（優先順位の高い順に、最大3つまで記入してください）

	対象者 (地域や年齢層も記入してください。)	対象者が抱える 主な課題	対象者の 総数	申請事業の 受益者数
1				
2				
3				

具体的にご記入ください。

(4) 申請事業の具体的な計画と目標

※事業実施期間：2015年8月1日～2016年1月31日のうちで任意

	計画内容	具体的な数字目標
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		

必ず数字目標をご記入ください。

(5) 実施体制（役割分担や協力先なども記入してください）

	担当者氏名 会社名、外部団体名	団体との関係	役割・担当業務 (できるだけ詳細に)
1			
2			
3			
4			
5			
6			

内部の人員体制、外部の協力者、ステークホルダーなど、できるだけ詳細にご記入ください。

(6) 申請事業が地域や社会にもたらす価値（優先順位の高い順に、最大3つまで記入してください）

※申請事業は地域や社会にどんな効果を与えますか？（できるだけ数字で記入してください）

記入例	中長期展望 (3～5年後の 申請事業の方向性)	ビジョン (申請事業終了時の 到達目標)	KPI (ビジョン達成を 判断するための評価指標)
1	就労支援を通じた雇用を年3件以上創出している。	就労支援を通じた雇用創出が1件できている。	利用者の就職面談の練習を月5回以上行っている。
2	精神障がい者が社会に復帰する前段階の居場所となっている。	社会復帰を目指す精神障がい者が10名以上参加している。	利用者の80%が週2回以上休まずに通うことができている。
3			

(7) 申請事業実施後の展望

※申請事業実施後はどのように事業を展開しますか？

記入例	申請事業実施後 (2016年2月以降)
組織 (実施体制)	スタッフ1名を雇用し、事業を継続する。
事業 (実施内容)	就労支援のプログラム内容を2種類から3種類に増やす。
財源 (資金調達)	会費・寄付収入の割合を収入総額の10%から20%に拡大する。

(8) 東海労働金庫役職員との協働について

※本ファンドは、東海労働金庫役職員の助成事業への参加を促し、助成先に関わる機会を実際につくることが目的としています。本申請事業の中で東海労働金庫の役職員と連携し、何を実現したいですか？ また、それはなぜですか？

(9) 申請事業の収支予算 ※「収入合計」と「支出合計」は金額を同じにしてください。

【収入】

	内訳	金額 (円)
1) 本助成金		
2) その他収入		
	収入合計	

金額の単位は、
すべて円としてください。

【支出】

費目	内訳および積算根拠 (単価、個数など)	金額 (円)	
		本助成金	その他収入
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; display: inline-block;"> ページをまたがないように 調整してください。 </div>		
	支出合計		

以上